

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(令和2年度分)

施設名 松江市宍道ふるさと森林公園・来待ストーン
指定管理者 一般財団法人宍道湖西岸森と自然財団
担当課 観光施設課
指定期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日

1. 総合評価

市	A	【優れていると評価した点】 ・両施設と新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら施設の適切な維持管理を行った。利用者ニーズの把握、施設の魅力を生かした利用促進や地域活動への積極的参加を通してPRと利用者確保に努めている。 (森林公園) 指定管理業務を適切に実施するとともに、4月及び5月の新型コロナウイルスの影響により休園した際、園内の樹木の整備や破損個所の補修等の実施、10月以降の拠点整備事業が円滑に進むよう市と事業者との連携を図ったことやこの期間に整備事業外の施設・設備の補修・整備や集客方法の見直し等を実施したことは評価できる。 (来待ストーン) 指定管理業務を適切に実施するとともに、企画展やイベントなどを企画し、利用者の確保に努めたことは評価できる。 【評価できない、または改善すべき点】 ・月報の提出が遅れることがあるため、期限内に提出してもらいたい。 ・来待ストーン陶芸館専門スタッフの早期確保を図り、通常営業を再開し利用者増につなげてもらいたい。
	A	【優れていると評価した点】 (共通) 利用者の安全・安心を最優先に、新型コロナウイルス感染症対策として島根県・松江市及びガイドライン等を遵守し、適切な管理運営を行った。 利用者のない施設休業期間中を有効活用し、営業再開後を見据えた施設整備等を実施した。 (森林公園) 宍道地域滞在型観光拠点施設整備事業に計画段階から協議に参加し、これまでの経験や利用者ニーズを反映した魅力ある施設となるよう提案した。 施設改修にあわせ、施設利用料金や利用時間の見直し、ホームページのリニューアル、会員制導入への対応等営業再開後を見据えた活動を実施した。 (来待ストーン) コロナ禍の修学旅行先の一つとして地元小学校の受入先選ばれ、新たな利用者を開拓した。 新型コロナウイルス感染症対策を徹底した中で、夏・冬に企画展を実施し、またその他物づくり体験も多く開催するなど、利用促進に努めた。 【評価できない、または改善すべき点】 (森林公園) 月報の提出が遅れることがあった。 (来待ストーン) 陶芸館は、曜日限定(金・土・日・月)の開館となっている。

2. 施設利用の増減について

総括	・利用者数は、森林公園が34,034人(対前年比19.9%)、来待ストーンが13,336人(対前年比55.9%)と前年度を下回った。両施設とも新型コロナウイルスの影響により減少し、特に森林公園については、リニューアルオープンのため半年間休園に伴い大幅な減となった。
----	---

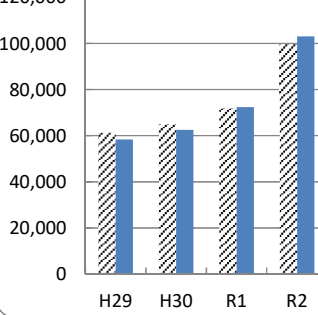
(1) 収支状況の推移 (自主事業を除く)

(千円)

項目\年度		H29	H30	R1	R2
施設の収支	収入	61,340	65,014	71,967	99,499
	うち指定管理料	16,878	16,827	21,831	78,803
	うち利用料	44,462	48,187	50,093	19,035
	支出	58,403	62,472	72,471	103,151
	差引	2,937	2,542	△ 504	△ 3,652
上記以外の市の収入、支出					
市の収支	収入(使用料)	284	379	222	160
	支出	1,225	2,517	2,628	35,641
	うち市の修繕費	399	433	738	2,045

※利用料金制を採用

収入 支出

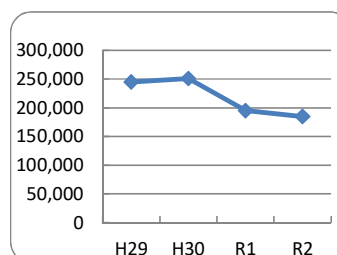


(2) 利用者の推移

(人)

H29	H30	R1	R2
245,069	251,003	195,147	184,637

※施設の総入場者数



【参考】産出指標(アウトプット)・成果指標(アウトカム)の達成状況

指定管理者が管理する公の施設は、市の施策を実現するために設置されたものですが、その設置目的の多くは抽象的なものとなっています。この設置目的を効果的に実現するためには、市が目標(指標)を具体的に示し、指定管理者と共有した上で施設の管理運営を行うことが大切です。

さらに、目標(指標)がどれだけ達成されたかを客観的に評価するため、指定管理者の活動の結果(アウトプット)や活動からもたらされた成果(アウトカム)を数値化し、市民の皆さんへ公表します。

- A 基準値 : 指定管理者募集の際に、市が提示した指標の値
- B 目標値 : 市が提示した基準値に対し、申請時に指定管理者が提案した値
- C 実績値 : 実績の値

分類	指標	A 基準値	B 目標値	C 実績値	目標に対する 達成度 C/B	基準値に対する 達成度 C/A
アウトプット	ふるさと森林公園 年間宿泊者数(H23～ 26年度の平均値の90%)	49,844	58,500	15,153	25.9%	30.4%
	来待ストーン 年間利用者数(H23～ 26年度の平均値の90%)	27,168	32,300	13,336	41.3%	49.1%
	モニタリング(満足度)%	70	75	85	113.3%	121.4%
アウトカム	宍道地区の年間観光入 込客数	335,560	387,830	155,590		
				達成度 平均	60.2%	67.0%

達成度 に対する 意見	指定管理者	市
	【達成度に寄与した・有効だった取組みの内容、次期に向けた課題】 (共通) 新型コロナウイルス感染対策の徹底 (森林公園) GoToトラベルキャンペーンの活用や密になりにくい施設を活かしたPR リニューアル後の安定した施設運営に向けた人員体制等の強化 (来待ストーン) 夏と冬の企画展・体験型イベント・地域陶芸家のうつわ展等 学校教育での利用促進に向けたプログラムの提案や校長会等でのPR	【達成度の原因・分析】 両施設とも新型コロナウイルス感染拡大の影響により、基準値及び目標値を大きく下回っている。 モニタリング(アンケート)回収数は両施設とも目標値を上回っている。

(3) 利用者アンケート

回答数	施設職員の対応・態度等、施設管理やサービスについて	主な意見
1,524	①満足している (85%) ②どちらともいえない (14.9%) ③満足していない (0.1%)	① 良い (森林公園) ・小窓の棚等、トイレもお風呂もキレイで、ほこりもなく気持ち良く利用できた。 ・スタッフの方々も皆さん親切で心が和んだ。 ・コロナ対策も具体的で分かりやすく、密にもならず安心して泊まれた。 ・バーベキューの準備等、施設サービスは大変良かった。 (来待ストーン) ・学芸員の方がとても親切で気持ち良い接客だった。 ・展示物がとても多くて、分かりやすかった。 ・丁寧に体験の指導をもらった。 ・体験もクイズもとても楽しかった。良い思い出になった。 ② 苦情 なし。 ③ 要望 (森林公園) ・キャンプサイトがもう少し広ければ良い。・BBQの量はよいが野菜がもう少しほしい。 (来待ストーン) ・館内が全体的に暗いので明るくしてはどうか。 ・小さい子どものためにタイトルの漢字にふりがなを付けてほしい。

(4) 住民サービス向上の事例

(森林公園) ・イベント事業として、星空観察会、竹トンボづくり、自然観察会などの日帰り体験イベント等を実施した。 ・自主事業の収益の一部を(公社)島根県緑化推進委員会を通して寄附し、地域の緑化に貢献した。 (来待ストーン) ・公民館等での講演活動やアイデアプレゼン大会&ビジネスコンテストの運営等に参加、島根半島・宍道湖中海ジオパーク普及啓発のための学校教育用貸出キットを作成した。

3. 自主事業

総括	・積極的に自主事業を展開により、サービス魅力向上に努めている。 ・新型コロナウイルスの影響により森林公園は赤字となったが、来待ストーンは黒字を確保しており、安定的な経営、施設運営につながっている。
実施状況	(森林公園) ・森林環境保全思想の普及事業及び各種調査研究事業、喫茶事業、ブライダル事業、各種体験イベント(自然観察会、星空観察会) (来待ストーン) ・来待石及び来待石産業の普及啓発事業(国引きジオパーク推進、ミニ器展の開催など)、学校教育用貸出キットの制作

4. 特記事項

・来待ストーン陶芸館については、指導員不足による縮小営業が続いており、通常営業再開が望まれる。

5. 今年度の目標・課題

(森林公園) ・リニューアルオープン後、コロナ禍ではあるが滞在型観光拠点として、施設利用者の獲得に向け、さらなるPRや新たな体験メニューの創設が期待される。 (来待ストーン) ・コロナ禍では、人数制限があり以前のように団体利用の確保が難しい状況や各種イベント中止によりイベント収入が減少していることが課題となっている。
--